

教科名	社会	科目	歴史	週授業時間	2
-----	----	----	----	-------	---

1. 教科書および副教材・参考書

中学社会 『歴史 未来をひらく』(教育出版) 『歴史の完全学習 1, 2・3』(正進社)
 歴史の用語図鑑 (正進社)

2. 授業の目標および内容

主に近世から近代までを学習します。中世・近世の封建社会から、近代的国家が形成される明治時代を経て、現在の多くの制度や文化が派生されていきますが、鎌倉から江戸へと続く武家政権の意味・本質を踏まえ、明治以降の社会・文化との差異を捉えることができる力を身に着けることを目標とします。

歴史を学ぶことは重要語の暗記だけではありません。物事には「起因」があり、「経過」を経て「結果」があります。単に歴史的事項や用語のみを捉えるのではなく、その「起因」や「経過」などを学ぶこと、つまり歴史的な広い視野をもつことが大切です。また、過去に人々が遭遇した問題を解決した状況を見て、それを考察し理解することや疑問をもつことも重要なことです。「疑問」が考察力や思考力を生み、そして判断力が育まれます。「何故」と思う気持ちを大切に、結論を導き出すための道標を自ら構築してください。

中学校の『歴史』では、日本の歴史を中心に世界の歴史も学びます。現在もニュースなどで耳にする様々な事件も、歴史的な事柄が「起因」としているものがいくつもあります。そのように事件の背景を考察する力や、人類の誕生から現在に至る文明の進化が、水流のようにつながっているという認識力を養うこともこの授業での目標です。しかし、様々な内容をインプットして自ら主体的に考察・思考・判断するだけでなく、国際化された社会では、自分の思考を他者に伝えるアウトプットをすること、表現をすることはとても重要です。そのため、生徒が主体性を持ち、考え、学ぶことができるように授業を展開し、生徒の表現力向上にアプローチ・寄与ができるような手助けも行います。

3. 試験について

	1 学期		2 学期		3 学期
定期試験	一次 5 月	二次 7 月	一次 10 月	二次 12 月	期末 3 月
学力試験	なし		なし		なし

内容・難易度について

定期試験：社会として、歴史と地理と 50 点ずつ出題します(合計 100 点)。範囲はその都度指示します。進度によって範囲も広く、内容も深くなっていくので、いわゆる「一夜漬け」での対応は難しくなります。授業後の家庭学習で理解を深めてください。また、思考力を問うような記述問題も出題しますので、内容や歴史的な流れの理解にも努めてください

教科書・史料や授業中などで漢字で表記されている語句は、正しい漢字での解答が必要です。誤字、脱字なども厳しく採点をします。

4. 課題・補習について

課題内容や詳細については事前の授業の中で指示します。

5. 評価の観点

定期試験の得点を基準としながら、課題の提出状況などを総合的に評価します。

学期	単元	学習内容	備考
1	安土桃山時代 江戸時代（初期～後期）	第4章2節 天下統一への歩み ①織田信長と豊臣秀吉 ②豊臣秀吉の政治/文化 第4章3節 幕藩体制の確立と鎖国 ①江戸幕府の成立と幕藩体制 ②キリスト教と海外への行き来の禁止 ③江戸時代の国際関係 ④琉球王国とアイヌ ⑤江戸時代の身分制度 第4章4節 経済の成長と幕政の改革 ①経済の発達と都市の繁栄 ②元禄文化と暮らし ③享保の改革/田沼の政治/寛政の改革/天保の改革 ④化政文化	ロイロノートを使用し、双方向的に授業を進めていく。
2	近代の世界史 江戸時代（幕末） 明治時代	第5章1節 近代世界の確立とアジア ①議会政治の始まり ②アメリカ独立革命/フランス革命 ③産業革命と資本主義社会の成立 ④欧米列強の成立 ⑤アジアの植民地化と抵抗 第5章2節 開国と幕府政治の終わり ①ペリー来航と開国 ②攘夷から倒幕へ ③江戸幕府の滅亡 第5章3節 明治維新と立憲国家への歩み ①明治維新 ②富国強兵 ③殖産興業・文明開化 ④明治政府の外交政策 ⑤北海道と沖縄 ⑥自由民権運動と政党の成立 ⑦憲法の発布と議会の成立	
3	明治時代	第5章4節 激動する東アジアと日清・日露戦争 ①条約改正 ②日清戦争 ③義和団事件・日露戦争 ④韓国併合と辛亥革命 第5章5節 近代の産業と文化の発展 ①日本の産業革命と社会問題 ②明治時代の文化 ☆近代のまとめ	